



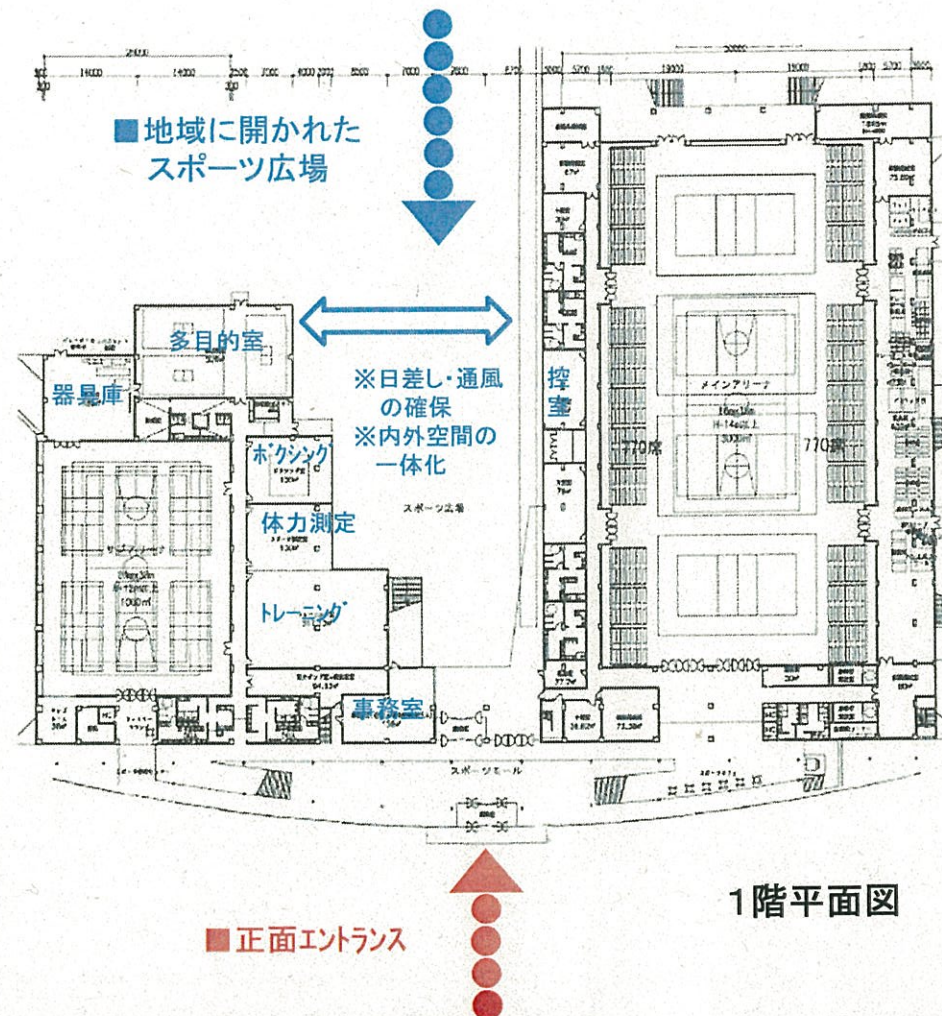
福井運動公園 イメージパース



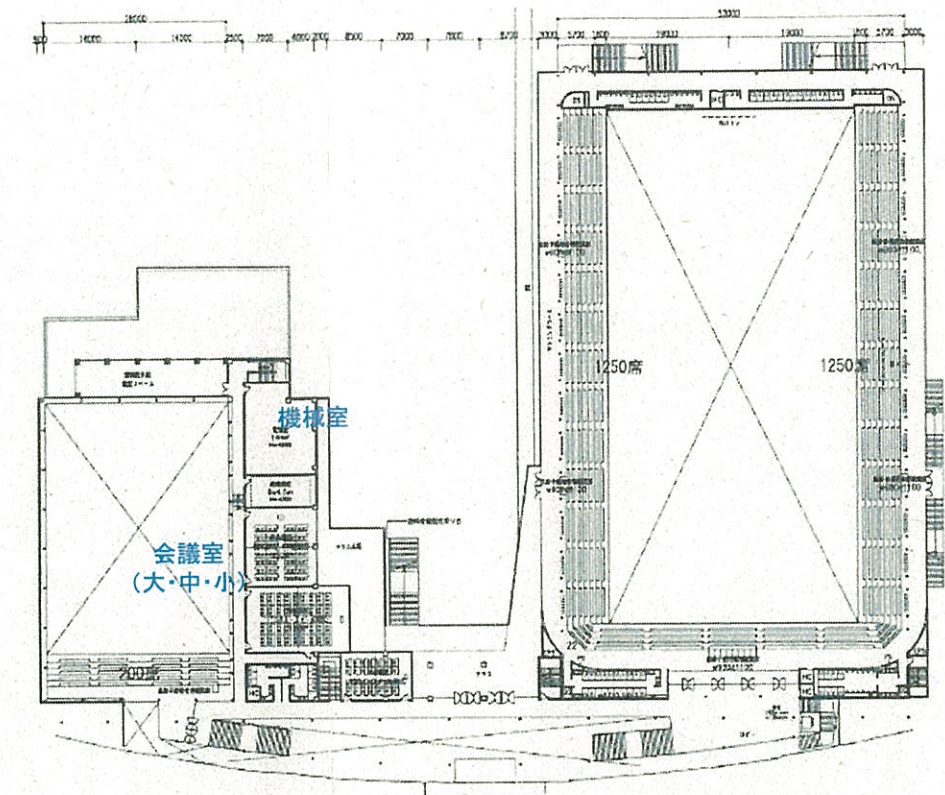
新福井県営体育館基本設計

メインアリーナ		
面 積	約3,000㎡	
用 途	バスケットボール公式コート バレーボール公式コート (※天井高さ 14m以上)	3面 4面
観 客 席	4,000席 2階固定席：2,500席 1階可動席：1,500席	
附属室	・ 控 室4室 (大2、小2) ・ 更衣室 4室	

サブアリーナ		
面 積	約1,000㎡	
用 途	バスケットボール公式コート バドミントン公式コート (※天井高さ 12m以上)	1面 6面
観 客 席	200席 (2階固定席)	
附属室	・ トレーニング室 ・ ボクシング練習室 ・ 会議室 3室 ・ 体力測定室 ・ 多目的室 ・ 更衣室2室	



1階平面図



2階平面図



東面パース



西面パース

福井運動公園施設の整備(案)

平成24年9月11日
第986回教育委員会説明資料

<整備の考え方>

昨年度の福井運動公園基礎調査に基づき、施設の老朽度、耐震性、設備の傷みの程度などを確認
この調査に基づいて、既存施設の活用、国体基準の合致、将来の県民利用などを考慮し、以下のように整備

区 分	整備理由	整備内容		国体開催競技
【国体開催競技施設】				
体育館 (築40年)	・他県でも、築40年程度で建て替えており、本体育館も老朽化し改築時期のため、現建物は取壊しのうえ現位置に新築 ・新たな体育館は、他県の中核施設のメインアリーナが平均3,000㎡程度であり、インターハイの開催など、将来利用を考慮して、メインアリーナなどを大きくする。	整備手法	現施設は撤去。現位置に新築	バスケットボール ハンドボール
		メインアリーナ	バスケ3面、バレー4面、ハンド1面 観客席4,000席(うち固定スタンド2,500席)	
		サブアリーナ	バスケ1面、バレー1面	
陸上競技場 (築53年)	・躯体の構造的には問題なく、国体後も十分活用可能 ・国体開催のため、夜間照明設備の設置など第1種陸上競技場公認に必要な改修 ・エレベーター設置など国体の開・閉会式開催に向けた改修 ・スタンドは1万7千人収容	・夜間照明設備の設置 ・トラック・フィールド改修 ・エレベーター設置 ・スタンドの改修 等		陸上競技 開・閉会式
補助陸上競技場 (築51年)	・国体開催のため、第3種陸上競技場に適合する補助陸上競技場の整備が必要。あわせて、フィールド部分にラグビー・サッカー場を一体的に整備	・補助陸上競技場を1周400mの全天候舗装6レーン以上、直走路8レーンに改修		
ラグビー・サッカー場 (築50年)		・フィールド部分に全面芝張替えのラグビー・サッカー場を整備		
屋内陸上練習場 (築51年)		・陸上競技場に付帯した屋内練習場の整備(トラックレーン100m)		
野球場 (築51年)	・芝生の張り替えなど国体開催に向けて必要な改修	・スタンドや雨漏り対策の改修 ・芝生の張り替え 等		高等学校野球〔硬式〕
テニス場 (築51年)	・国体開催のためメインコートの照明設備の設置等	・照明を4基設置(メインコート4面分) ・コートの改修 等		テニス
【その他の施設(国体開催競技施設でないが競技力向上のため必要な施設など)】				
水泳場 (築52年)	・屋内25mプールは、耐震性の問題で使用休止中であり、現建物は解体 ・県内唯一の水深1.5mある屋内25mプールであり、競泳や水球競技の年間を通じた選手強化施設として、現位置に新築	・屋内25mプールは、現建物は撤去。現位置に新築 ・屋外50m、屋外飛込プールは危険箇所など改修		
補助球場 (築50年)	・国体開催時に駐車場として活用	・国体開催時は駐車場として整備 ・国体後は芝生の張替えなどを行い、補助球場に復帰		
少年運動公園 (45年経過)	・国体開催時のおもてなしゾーンとして活用するための改修	・公園を芝生広場として整備 ・屋内休憩所は長寿命化に対応した改修		
外構(園内外敷地) (53年経過)	・老朽化が著しい埋設雨水・給水配管などの改修が必要なため ・国体開催に向けた景観などに配慮した改修	・埋設雨水・給水配管の更新 ・景観に配慮した植栽や外周道路のアスファルト舗装の改修 等		

9月補正予算で福井運動公園整備の基本設計の予算を計上
今後、基本設計等に基づき工事費を確定し、国体開催に向けて計画的に工事を進めていく。